

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名		岐阜県岐阜市		2 補助事業の種類		地域文化遺産活性化	
3 実施計画の名称		岐阜市の文化遺産を活かした地域活性化事業			【計画の改善時期】 平成 年度		
4 実施計画期間		平成 23 年度 ～ 平成 33 年度					
5 実施計画の概要							
民間主導による地域の文化遺産の保護、活用に関する取組みを行政が支援することで、官民一体で事業を進める素地を醸成する。各事業は基本的に単年度で完結するが、前年度をふまえ、より発展させた事業も推奨していく。実施期間は平成33年度まで行う。 The diagram shows Gifu City divided into five numbered regions (1-5). Region 1 (North) includes sites like 城田寺古墳群 and 枝広館. Region 2 (West) includes 黒野城跡 and 河渡宿. Region 3 (Central) includes 岐阜城跡 and 加納城跡. Region 4 (South) includes 鏡島湊 and 原三溪. Region 5 (East) includes 日野古墳群 and 手力の火祭. A legend indicates color coding for different eras: yellow for ancient, orange for medieval, pink for modern, and red for important areas. Red squares represent community centers.							
6 実施体制							
本事業は、事業主体となる実行委員会が事業を公募し、団体から申請された事業を取りまとめて、「岐阜市の文化遺産を活かした地域活性化事業」として申請する。実行委員会の事務局は、岐阜市教育委員会事務局社会教育課におき、事業の処務を行う。また、実行委員会には、事業計画に密接に関係している団体も参加し、事業の周知や事業内容の連携をとる。 本事業の実施は、以下に掲げる団体が行い、岐阜市教育委員会は指導機関として、事業に係る指導及び助言を行うとともに、事業の周知や団体間の連携等に関する調整を行う。 ・明徳若戎奉山会 ・長良川鵜飼文化の魅力発信事業実行委員会 ・金華安宅車奉曳保存会 ・特定非営利活動法人 ORGAN ・日本遺産「信長公のおもてなし」岐阜市推進協議会 ・岐阜市長良川鵜飼保存会（平成30年度事業実施団体）							
7 実施計画における目標と期待される効果				別紙①のとおり			
8 補助事業の概要		(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 44,266 千円		平成30年度申請額： 102 千円 948		
		(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり				
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）							
本計画に基づく事業の実施により、以下の効果が想定される。 (1) 市民の文化遺産に対する関心や理解が深まる。文化的景観選定エリアに含まれる多様な文化を様々な角度から分析、PRすることができる。 (2) 市民が、各地域の文化遺産を保存・継承するための活動に主体的に取り組むことで、郷土愛や誇りの醸成、アイデンティティーの確立、ひいては共通のアイデンティティーを基盤とした地域の絆の再構築につなげることができる。 (3) 「岐阜市歴史文化基本構想」策定にあたっての基礎資料や、地域の文化遺産の調査・保護・継承の担い手づくりにつなげることができる。 (4) 文化遺産を活用することで当該地域や文化遺産のブランド化が図られ、来訪者や観光客の増加が見込まれる。							

10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）	
事業概要：	岐阜市有形民俗文化財指定に向けて、岐阜まつりの調査を自主財源にて行う。
事業概要：	
事業概要：	
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等	
既に作成済である「岐阜市歴史的風致維持向上計画」、「史跡岐阜城跡保存管理計画」「長良川中流域における岐阜の文化的景観保存計画」および日本遺産【「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜】と整合性をとりながら連携し、平成30年度から「岐阜市歴史文化基本構想」を策定する予定。	
12 担当部局	
地方公共団体 担当部局課	岐阜市教育委員会事務局 社会教育課

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	鵜飼観覧船乗客数			関連事業:	③、④	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 108,653 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 112,272 人					
設定根拠 1 :	H23:106,694人 H24:105,475人 H25:105,002人 H26:102,714人 H27:103,927人 H28:108,653人 H29:110,412人 増減数の平均値620人×3年間=1,564人を目標増加人数として算出。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
108,653 人	110,412 人	人	人	人	人	
0%	49%					
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	長良川うかいミュージアムの来場者総数			関連事業:	③、④	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 600,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,100,000 人					
設定根拠 2 :	H24:10万人達成 H25:20万人達成 H26:30万人達成 H27:40万人達成 H28:60万人達成 増加数の平均値12万5千人×4年間=50万人を目標増加人数として算出。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
600,000 人	800,000 人	人	人	人	人	
0%	40%					
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	安宅車・若戎車（蛭子車）奉瑛参加人数			関連事業:	①、②	
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 170 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 225 人					
設定根拠 3 :	平成28年度の参加人数を基に、毎年5%の参加人数増加を目標とする。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
170 人	180 人	人	人	人	人	
0%	18%					

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①:	安宅車奉曳囃子方養成事業（自主事業）	実施団体:	金華安宅車奉曳保存会		
事業区分:	後継者養成	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要:	平成31年4月開催の岐阜まつりに向けて、平成31年1月から3月までの間、金華地区の住民（大人、小学1年生～中学3年生）に対し、講師を招いて安宅車奉曳時に演奏する祭囃子（笛・鼓・べ太鼓・大太鼓）およびからくり操作の練習を行う。				
評価指標区分:	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標:	囃子方の演奏が可能な人数				
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 40 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 115 人				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
40 人	62 人	人	人	人	人
0%	29%				
事業②:	安宅車奉曳衣装整備事業	実施団体:	金華安宅車奉曳保存会		
事業区分:	用具等整備	事業期間:	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要:	安宅車奉曳の際に着用していた衣装は、40年以上の間修理しつつ使用されてきたが、近年劣化が激しくなっている。また、住民の平均身長などの変化によりサイズの不一致が生じている。そのため、専門家の指導・助言を基に衣装の新調を行う。				
評価指標区分:	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標:	囃子方の演奏が可能な人数				
目標値:	【現状値】 平成 28 年度 40 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 115 人				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
40 人	62 人	人	人	人	人
0%	29%				
事業③:	鵜飼文化伝承者体験教室～船頭編～	実施団体:	岐阜長良川鵜飼保存会		
事業区分:	普及啓発	事業期間:	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度		
事業概要:	長良川において鵜飼観覧船や鵜飼型舟（苦舟）を操船する体験教室を開催し、船頭の魅力や操船の面白さに触れられる機会を創出する。その上で、将来的に船頭の技術を真剣に継承していきたいと望む人材を発掘し、後継者育成事業へと繋げていく。 （事業名「（仮）川文化に触れよう！船頭体験教室」、船頭の技術指導のもと操船体験を実施、鵜飼シーズン中に3回実施予定）台風の影響により平成30年度実施できなかった体験教室を平成31年度に実施する。				
評価指標区分:	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標:	体験教室参加者のうち船頭の仕事に関心を持った人数（アンケート調査を実施）				
目標値:	【現状値】 平成 29 年度 0 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 15 人				
進捗状況:	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	0 人	人	人	人	人
	0%				

事業④：	鵜飼文化伝承者記録映像撮影～船頭編～			実施団体：	岐阜長良川鵜飼保存会		
事業区分：	記録作成			事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	「鵜飼文化伝承者体験教室～船頭編～」における活動の様子を中心に撮影し、船頭の技術や活動の実態等を記録映像により後世に伝えていく。将来的に、全ての鵜飼文化伝承者を網羅する内容にまとめて編集する予定であるため、映像素材の取得を主目的とする。また、普及版映像も平成31年度に作成する。台風の影響により平成30年度実施できなかった映像撮影を平成31年度に実施する。						
評価指標区分：	・ 記録映像の貸し出し（又は利用）回数等					（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	YouTubeの再生回数						
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 500 回						
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
回	0 回	回	回	回	回	回	
	0%						